

東日本大震災から15年 ～大切なのは、すぐ逃げること～

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から、今年で15年です。令和7年10月には、津波で行方不明となっていた当時6歳の子どもの身元が特定されたということが話題になりましたが、今もまだ多くのかたが行方の分からない家族を探し続けているという事実があります。

東日本大震災では、死者15,900人、行方不明者2,520人(令和7年2月末現在)など、多くのかたが津波により犠牲となりましたが、南海トラフ地震が発生した場合、鳥羽市でも同じような状況が起こる可能性があります。これらのことを決して忘れずに、災害への備えを再確認し、防災意識をより一層高めましょう。

津波からの避難は、「より遠く、より高く！」

津波から命を守るために、**想定にとらわれず、迷わず、とにかく早く高い場所へ**避難しましょう。

津波はくり返し襲ってきます。第1波が一番高い津波とは限りません。**自ら率先して避難する**ことで、周りの人も避難行動に移すきっかけになります。



地震・津波に対する日頃の備え

●津波ハザードマップや避難経路と避難場所の確認

ハザードマップを参考に、津波浸水の想定される場所、浸水する深さ、津波が到達する予測時間、避難場所や避難経路を確認しておきましょう。万が一に備え、複数の避難経路を想定しておくことが重要です。

●非常持ち出し品のポイント

地震後の津波の避難場所は、基本的には屋外です。屋外での長時間の避難も想定してください。

- 日よけ対策や防寒対策など、季節に応じた対策をしましょう。
- 避難場所によっては、トイレがない場合もありますので、携帯トイレも準備しましょう。トイレットペーパーも忘れずに!



遠地の地震による津波 もあります

近年、令和7年7月のカムチャツカ半島付近の地震の影響で津波警報が発表されたように、震源地が遠い地震(いわゆる遠地地震)でも津波が襲ってくる場合があります。決して油断せずに、情報収集を行い、津波浸水想定区域内にいるかたは、適切な対応をとるようにしましょう。

消費者トラブルにご用心!

消費生活相談

Vol.60

受付時間：平日(祝日を除く)
午前9時～正午、午後1時～4時
場 所：伊勢市岩淵1丁目7番29号
(伊勢市役所本庁東館3階)
伊勢市消費生活センター TEL 0596 5717
または 局番なし188
観光商工課商工労政係 TEL 1156

直接会ったことのないその人
本当に大丈夫ですか?

インターネット上でたくさんの人とつながるSNSや出会い系アプリなどを利用した詐欺被害が急増しています。

「絶対に儲かる」と投資に誘ったり恋愛感情や親近感を抱かせながら金銭をだまし取ったり「簡単に副業できる」と甘い言葉でだましてきます。そのきっかけがSNSや出会い系アプリでその後、ラインに誘導する手口がほとんどです。

うまい話には裏がある。お金の話が出たら、まず詐欺を疑ってください。少しでもおかしいと思ったら、1人で悩まず消費生活センターに相談してください。

お金が5倍になる。投資で儲けませんか。

絶対儲かる副業がある。あなただけに教えてあげる。

あなたの口座が不正に利用されています。逮捕して紙幣を確認します。

愛してる、結婚したい、会いに行きたいから旅費を送って。

事故した。助けてほしい。

未納の料金があります。

こちら市役所です。還付金があります。